

ディボーション質問表



ゼカリヤ書は、1～8章は同時代への説教、9～14章は未来に関する預言になっています。

18日(月) ゼカリヤ書 13:1～9 罪と汚れのきよめ

1. 1節の泉は、イエス様の十字架から溢れ出来るきよめの力です。
→ 今日示された十字架にもっていくべき罪は何だろうか？
2. 神様は私たちに試練を体験させられます(8～9節)。 → イエス様にあがなわれたのになぜ苦しまなければいけないのか、なぜ自分が望むようなことが起こらないのかと不安に思っていますか？ その苦しみともがきから神様のきよめをいただいているのでしょうか？

19日(火) ゼカリヤ書 14:1～21 主の日の出来事

1. これは終末の最終段階を示しているようです。2節の世界規模の反イスラエル同盟が地上で大勝利を収めるとき、神様ご自身が来られることを述べています。その時、自然法則も完全に変わられます(6節)。それは、アダムが罪を犯したとき、またノアの洪水が起こったときのようにです。
2. 神様が完全に世界の王となられるとき、商人もなくなり、軍人もなくなります(馬に鈴をつけるのは軍隊がそうしていた)。
→ いつも世の終わりを意識して生きているだろうか？ 目先の現状に捉われて右往左往していないだろうか？ 終末を意識して生きる今日の日とはどのような一日でしょう。

20日(水) 箴言 4:1～27

1. ここの箇所で行われている「父の訓戒」とはどのようなものなのでしょうか？ 書き出してみましょう。その中で特に自分に必要な部分はどこでしょうか？
2. 今週の水曜日から土曜日の箇所を通して、父親の責任について考えてみましょう。そして父親の為にどのように祈ったらよいか考えてみましょう。

21日(木) エペソ人への手紙 5:22～33

1. 妻たちに対する教えは何でしょうか(22～24)？
2. この箇所とコロサイ3:18、Iペテロ3:1～6を比較してみましょう。共通している所、違う所を見つけ、それぞれが強調している事を見つけてみましょう。
3. 夫たちに対する教えは何でしょうか(25～33)？
4. この箇所とコロサイ3:19、Iペテロ3:7を比較してみましょう。

22日(金) エペソ人への手紙 6:1～4

1. 子どもたちに対する教えは何でしょうか(1～3節)？
2. この箇所(1～3節)とコロサイ3:20を比較してみましょう。
3. 父たちに対する教えは何でしょうか(4節)？
4. この箇所(4節)とコロサイ3:21を比較してみましょう。

23日(土) エペソ人への手紙 6:5～9

1. 奴隷たち(使用人、従業員、労働者)に対する教えは何でしょうか(5～8節)？
2. この箇所とコロサイ3:22～25、Iペテロ2:18～25を比較してみましょう。
3. 主人たち(ボス、雇い主、リーダー)に対する教えは何でしょうか(9節)？
4. この箇所とコロサイ4:1を比較してみましょう。